

校報



水 緒

「知徳の方向 あやまらず 進め」

第 1 4 2 3 号
(令和4年度 第24号)
洋野町立種市小学校
令和4年11月18日
児童数 232名

寒くなってきました。体調管理に努めたいです。特に、週明けに体調を崩している子が目立つようになってきました。

家庭教育講演会＋地区懇談会

日時 令和4年11月27日(日)
10:00～11:00 (その後30分程度地区懇談会)

場所 洋野町民文化会館(セシリアホール)

講演 「東日本大震災と子ども達」
講師 岩手県教育委員会事務局中部教育事務所
主任指導主事 齋藤 真 先生

齋藤 真 先生 の御略歴

- 震災発災時は、釜石市立釜石東中学校に勤務
 - ・釜石東中の生徒と隣の鶉住居小の児童を連れて避難。
 - ・避難後は、中学生とともに近くの中学校の校舎で避難所生活。
 - ・東京で開かれた国際連合の会議への出席を時の内閣から依頼され、当時の様子を演説。
- 現在は、県内だけでなく、南海地方、福岡県や佐賀県の九州地方など、全国各地からの依頼を受け講演を行っている。

なんと地域から**50名**を超える申し込みが

消防団、自治防災組織など、地域から50名を超える申し込みがありました。地区懇談会も併せて行われます。追加の申し込みも大歓迎です。PTAの方々も是非ご参加ください。

切り取り

講演会参加申込書

保護者氏名

児童氏名 (年)

保護者氏名

児童氏名 (年)

「引き渡し訓練」ありがとうございました 実際にやってみて見つけた改善点

15日(火)には、避難訓練と引き渡し訓練を行う予定でした。前日、体調不良の子が多く、寒い中で引き渡しを行うことで体調を崩す子が増えるのを防ぎたかったことから学校での引き渡しとしました。中止にしたくなかったのは、これまで何年も行っていなかったことや、是非行ってスムーズな引き渡しの練習にしたいということ、やってみることで定期的に改善点を洗い出すことをしたかったからでした。

やってみて、さっそく、「よかったこと」や「よりよくするための改善点」が見つかりましたので、速報としてお知らせします。

よかったこと

- ・実際にやってみることで、かかる時間もわかり、改善点も新たに見つかりました。
- ・待ち時間があっても混乱することなく、順番に待っていただきました。
- ・駐車場でも事故に気をつけて譲り合ってくださいました。
- ・お仕事もあるとは思いますが、訓練の意味(命を守る訓練であること)をご理解いただいて、迎いの協力をいただきました。

改善点

- ・「引き渡しカード」に記載されていない方が迎えにいらしても今回は引き渡しました。

東日本大震災のときは、迎えにきた家族の方に引き渡した後に、家族の違う方が迎えにきて、行き違いになるということが起きています。中には、引き渡したあとにその子が事故にあったり津波にのまれたりということもありました。ですから、どこの学校でも、厳格に、引き渡しカードの記載された方にだけ引き渡すことを大原則にしています。

⇒「引き渡しカード」に記載された「引き渡す方」に変更がないか確認を行わなければなりません。また、随時、お申し出をすることもお願いしなければなりません。

- ・受付のところをもっとスムーズにしたいです。

- ・学年を半分にして前半(1~3年生)・後半と分けてへの引き渡しを行いました。上の兄弟も一緒に引き渡しを行ったので、前半の人数が多くて、受付が混み合いました。
- ・受付と呼び出し、教室(児童の待機場所)から児童を連れてくる職員、児童を確実に引き渡す職員が不足しました。
- ・児童の呼び出しをスムーズに行うために、役場からトランシーバーをお借りしてやってみました。東日本大震災の時は即停電が起きて、校内放送も使えませんでした。

- ⇒・混み合わないよう、前半に引き渡す学年を減らした方がよいか検討します。
- ・職員の人員には限りがあるので役割分担を検討します。また、時間はかかっても確実な引き渡しを行いますので、おうちの方にもご理解をお願いしていきます。
- ・東日本大震災の時は即停電で校内放送も使えませんでしたし、人員も足りないことからトランシーバーは有効でした。学校でも用意したいです。鉄筋コンクリートの建物では聞きづらい場合があったので、より電波の強い無線を用意しなければならぬようです。

先週、研修で石巻の旧大川小学校を見て来ました。そこで遺族の方のお話もお聞きしました。今まで津波が来たことがないというその場所では、あらかじめ決められていた少し高い川の橋のたもとに避難しようとしたようだとお聞きしました。「裏の山に登れば助かったのではないか」ということも言われているようです。

我々も、最悪を想定して、逃げる場所を決めておくこと、空振りになってもよいから逃げること、停電など条件が悪い中での避難の準備をしておくこと、などを進めたいと思いました。また、普段は忙しさもあり、訓練も面倒に思うのですが、「命」最優先で訓練をしていきます。さらに、工夫・改善を進めていきます。